

# ハートフルケアなかの

中野区介護サービス事業所連絡会 発行 会長 田口善彦

## 事業所連絡会主催研修（サっちゃん家の介護事情）について

2022年12月3日に、中野サンプラザにて介護の魅力発信事業の一環としての区民向けの研修を開催いたしました。

あの有名な「サっちゃんはね〜♪」の曲を作られた阪田寛夫先生の人生を描いた、「枕詞はサっちゃん」の著者、エッセイストの内藤啓子様をお招きし「サっちゃん家の介護事情」というタイトルで講演をおこないました。

会場とオンラインで95名の参加となりました。実体験に基づく介護事情を阪田寛夫先生の曲と共に笑いありでお話をいただき、現在介護をされている区民の皆様だけではなく、これから介護をおこなおうとされている方々の励みやヒントになったのではないかと思います。

アンケートも半数以上の方が参考になったとの結果をいただきました。以下に寄せられた感想の一部をご紹介します。

- ・老後問題は若い時からの過ごし方からと改めて感じた。
- ・感動した。内藤先生のご苦勞をきいて涙がでそうになった。
- ・とても引きこまれるお話だった。数々の著書を読みたくなった。
- ・講演としてとても楽しくあっという間に時間がすぎました。
- ・介護で大変な時期を幾重にも重ねながら乗り越えていらしたお姿に感銘を受けました。
- ・実家の母と一緒に拝見しました。こういった機会があればまた参加したいです。
- ・とてもやさしい声で、7人もの方を見送られ、どんなにおつらい時期を過ごされたのかをさらりと話されとても素敵でした。
- ・今回の研修は家族の視点からの話が参考となった。今後もこのような内容の研修が時々あれば・・・と思います。

ご協力いただきました委員の皆様、ご参加されました皆様に感謝申し上げます。

研修ICTチーム



内藤啓子『枕詞はサっちゃん—照れやな詩人、父・阪田寛夫の人生—』（新潮文庫刊）

専門性を活かした地域貢献として、認知症サポーター養成講座への協力を行っています。

★写真は「MIKAN～認知症と地域づくりと健康福祉～」の認サポ劇団が区内学校で開催した際の様子です。その他、区民活動センターや図書館、商店街や一般区民向けなどなど区内で活動されています。（すでに2000人を超える養成をしています。）



弥生居宅廣末さん、なごみ訪問看護柳生さん、上鷲宮包括高橋さん、MIKAN中山さん、武蔵野療園駒野さん、アスモ浅津さん、MIKAN伊藤さん

## ボランティアに参加して ご協力頂いた方からの一言

出来るときに。  
単発のボランティア  
で地域貢献

### 弥生居宅介護支援事業所 廣末さん

「認知症になっても安心して生活できる社会であれば…といつも思っています。みなさんと一緒に、認知症のサポーターとして地域にでかけてみませんか？  
認知症サポーター養成講座のお手伝いも募集中です。（^^）」

### 土屋訪問看護ステーション 椎名さん

講師の柳生先生の認知症についてのお話はとても分かりやすく、地域の皆様が日々疑問に思われていることや悩まれていることが解消されたと思います。私も今後の訪問看護での関わりに大変役立つ内容でした。寸劇では、認知症の方の義娘役をさせていただきました。家族の支えが大切だと学ばせて頂きました。各事業所の皆様も日頃のケアに大変役立つと思うので、是非ご参加下さい。

## コロナ禍での介護事業所『奮戦記』

2020/1/16日本で初めてコロナ感染患者が発見される。神奈川県在住30代男性。1/6に武漢から日本に帰国1/14に診断。ここから早三年が経過。情報が錯綜し情報に翻弄される日々が続いた。2/5ダイヤモンドプリンセス号の乗員乗客約3711人を検疫。10人に陽性反応がでた。最終的には陽性者712人、無症状者が50%弱、亡くなられた方13人。**無症状の陽性者がすでにいた。**

2020/4/7初の緊急事態宣言。このあたりから不安と恐怖が我々介護業界に蔓延する。緊張の日々。保健所・病院の逼迫、施設でのクラスター、離職、立ち行かない事業所運営。みんなが苦しかった。訪問介護では、いつどこにいるかわからない敵に二重マスクと手袋、消毒、フェースシールドで立ち向かった。利用者が陽性でも訪問しなければならない方もいる。施設では陽陽介護だ。防護服を着ての訪問が続く。毎回勇気がいる。



映像で見た、病院内を防護服で走り回る医師や看護師の姿を励みに我々も頑張った。いや、気は抜けない。これからもこの頑張りはずっと続く。

← 都庁のライトアップです。私が撮りました。  
緊急事態宣言が解除されると付くレインボーです。

中野区介護サービス事業所連絡会 副会長 戸澤由希子

## 新規事業所紹介

事業所名：訪問看護ステーションはな中野

所在地：東京都中野区東中野3-6-14 鈴木ビル1.2F

TEL：03-6820-2378 FAX：03-4363-7052

人員構成：看護師4名 理学療法士2名



令和4年10月1日、東中野に訪問看護ステーションはな中野がオープンしたとのことで、取材に行って参りました。早稲田通りから山手通りに抜ける東中野ギンザ通りを100mほど行き右折すると左手ビルの2Fに看板が見えます。

所長の喜友名（きゆな）さんと面談予定でしたが、急遽緊急対応（365日24時間緊急対応の体制をとっています）が入ったとのことで、理学療法士の淵田さんにお話をお聞きしました。とにかくお二人とも明るく誠実そうな印象で、はじめて接するご利用者の方もすぐに心を開いていただけるのではないかと思います。

運営会社の株式会社はなさんは葬祭事業からスタートした会社で、現在では、医療・介護分野で訪問看護ステーションを全国に27拠点、居宅介護支援事業6拠点、ヘルパーステーションはじめ身元保証や転職支援など多岐に渡るサービスを展開しています。

はなさんの成長の原動力は会社の理念「信頼と寄り添う心」の全文を毎日スタッフ全員で唱和しているとのことで、お仕事のもつ意味を日々研鑽されていることに心を動かされました。事業所連絡会の皆さんとも積極的に交流をしていきたいとのことでした。（取材：花堂）





- ①総会日時 2023年4月21日(金)18時30分～
- ②開催方法 ZOOMによるオンライン開催
- ③総会の議案について 4月14日(金)に中野区介護サービス事業所連絡会ホームページに掲載及び会費納入時にいただいているメールアドレスに議案を送付いたします。
- ④出欠及び委任等についての回答 議案の送付時にGoogleフォームの案内をさせていただきますので、フォームにて回答をお願いいたします。

《昨年度の総会の様子》

<問合せ>

中野区介護サービス事業所連絡会 事務局担当  
中野区社会福祉協議会 電話 03-5380-0751

コロナ禍の中、事業所同士の横の連携及び中野区との意見交換など、正副会長と運営委員が中心となり、活動を進めております。会員事業所の皆さんとお顔を合わせるのが、総会となります。

2023年度の取り組みも皆さんと一緒に進めていくため、オンラインではありますが、多くの事業所のご参加をお待ちしております。

(事務局 中野社協 小山奈美・佐藤恵美)



## 編集後記

侍Japan決勝リーグ進出おめでとう。私もいつか野球界に恩返しをしたいです。(花堂)  
もうすぐ春ですね。桜の季節が一番好きです。(白岩)  
花粉と奮闘中のみなさま、頑張ってください～～(王)  
新型コロナの第8波はピークアウト? “宴会部長”の魂がウズウズしています!(齊藤)  
ぽかぽかの日に中野通りを通ると、満開の桜が待ち遠しい気持ちです。春よ早く来い～!(椎名)  
がんばれ侍ジャパン! WBC開幕!! 当法人草野球チームは未だ閉幕中…。(田村)  
マスク外すか、外さないかって!? そもそも花粉症の人は無理ですよお泣(廣末)  
本年度も無事発行を継続することができました! 皆さまのご協力に心より感謝致します!(佐藤)

**「ハートフルケアなかの」は、中野区介護サービス事業所連絡会ホームページからダウンロードできます。職員、利用者様にも配布してご活用ください。**

**(<http://www.nakano-kaigo.org/>)**

事務局：中野区社会福祉協議会 経営管理課内 担当 小山・佐藤

〒164-0001 中野区中野5-68-7 スマイルなかの4階 (日・祝・第3 月休)

電話：5380-0751 FAX：5380-0750